

1. 登山・ハイキング・史跡めぐり

1. ねらい

- (1) 困難に負けず、同じ目的に向かう協同の心と忍耐力を培うとともに、登山を通して自然に親しみ、自然を愛する心情を養います。(登山)
 - (2) 恵まれた自然の中で、動植物の観察などをしながら散策し、友情を深め、自然を愛する心情を養います。(ハイキング)
 - (3) 史跡を訪ね、歴史や文化、自然に触れることにより、日本の歴史や文化への興味、関心、知識を深めます。(史跡めぐり)
- ※ 同じコースであっても、ねらいによって様々な実施の仕方があります。

2. 時期・時間

年間を通じて活動可能です。(ただし、冬期は移動に雪や凍結に対する配慮が必要です。) 時間等は別紙「登山・ハイキング・史跡めぐりコース一覧」のとおりです。

3. 準備

自然の家で貸し出しできる物	利用者で準備する物
無線機 (代表者に1台。複数必要な場合は相談要)、 ロープ (荒天時)、 アイゼン (凍結時)、 ヘッドランプ (夕方・夜間)、 トイレ用簡易テント、スコップ	登山、ハイキングに適した服装 (長袖、長ズボンが良い) 帽子、軍手、タオル、レジャーシート、 雨具、水筒、カメラ、地図、時計、救急用品、 弁当 (1日コースの場合) など

4. 活動内容 (展開例)

内 容	
説明 15分	・班編成、服装、人数確認、健康状態の確認等を行います。 ・活動のねらい、目的地、コースを確認します。 ・注意事項を確認します。(行動、危険箇所、緊急時の対応、自然保護等について)
活動	・出発前に準備運動をしましょう。 ・団体のねらいや実態に応じて、活動の方法を工夫しましょう。 ・自然の愛護、環境保全に努めましょう。
整理 15分	・人数確認、健康状態の確認等しましょう。 ・感想を発表しましょう。

5. 留意点

- (1) 指導者は、必ず下見を行い、ルート、危険箇所、所要時間を調査するとともに、緊急時の対応等の体制を整えておきましょう。
※ 雨天後は滑りやすくなっています。冬期は、雪や凍結への注意が必要です。
- (2) 参加者の健康状態を把握し、人数確認を適時行って実施してください。
- (3) 救急用品等を持参するとともに、事故発生時の対応について確認のうえ、実施してください。
- (4) 落石、転落、まむし、蜂等に十分注意するようにしてください。また、道に迷ったり、はぐれた場合の連絡方法等を指導しておいてください。
- (5) 多人数で施設の見学を行う場合は、事前に連絡を入れておいてください。